



2018年11月2日

各 位

会社名 株式会社セブン銀行
代表者名 代表取締役社長 舟竹 泰昭
(コード番号：8410 東証第一部)
問合せ先 常務執行役員 企画部長 竹内 洋
(TEL：03-3211-3041)

第2四半期（累計）期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2018年9月7日に公表いたしました2019年3月期第2四半期（累計）期間（2018年4月1日～2018年9月30日）の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績の差異（2018年4月1日～2018年9月30日）

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	73,000	20,300	Δ500	Δ0.41
実績値 (B)	73,450	20,725	Δ258	Δ0.21
増減額 (B-A)	450	425	242	
増減率 (%)	0.6	2.0	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	62,279	19,898	13,602	11.41

2. 2019年3月期第2四半期（累計）単体業績予想と実績の差異（2018年4月1日～2018年9月30日）

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	59,900	22,400	100	0.08
実績値 (B)	60,405	22,826	701	0.58
増減額 (B-A)	505	426	601	
増減率 (%)	0.8	1.9	601.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	58,186	21,507	14,808	12.43

3. 差異が生じた理由

海外事業については、業績予測値と実績値に大きな乖離はございません。

一方、国内事業では、ATM事業が堅調に推移したことにより、経常収益は業績予測値を上回っております。経常費用は継続した費用抑制の効果から計画値を下回り、経常利益、純利益は業績予測値を上回りました。上記に伴い当中間決算に於いて、連結・単体共に業績予測値と実績値に差異が生じております。

なお、通期業績予想につきましては、従来の予想から変更はありません。

(注) 本日付で、2019年3月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）を公表しておりますので、業績の詳細についてはそちらをご覧ください。

以 上